

担当課	警防課、 地域保健課
担当者	北野、有松 岡
電話	073-428-0119 073-488-5105



令和4年6月30日

熱中症の搬送者が急増しています 熱中症に対する知識を深め、未然に防ぎましょう！

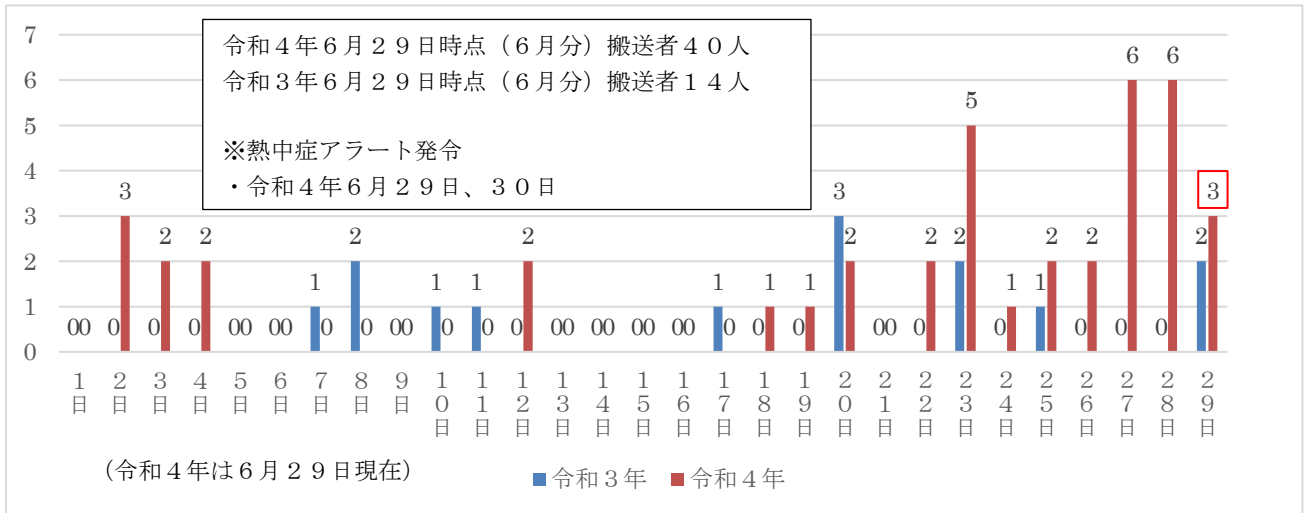
昨年に比べ熱中症による救急搬送が急増しています。熱中症は気温が高いなどの環境下で、体温調節の機能がうまく働かず、体内に熱がこもってしまうことで起こります。小さな子どもや高齢者、病気の方などは特に熱中症になりやすいため注意が必要です。

熱中症にならないために、一人ひとりが正しい知識を知り、未然に防ぎましょう。

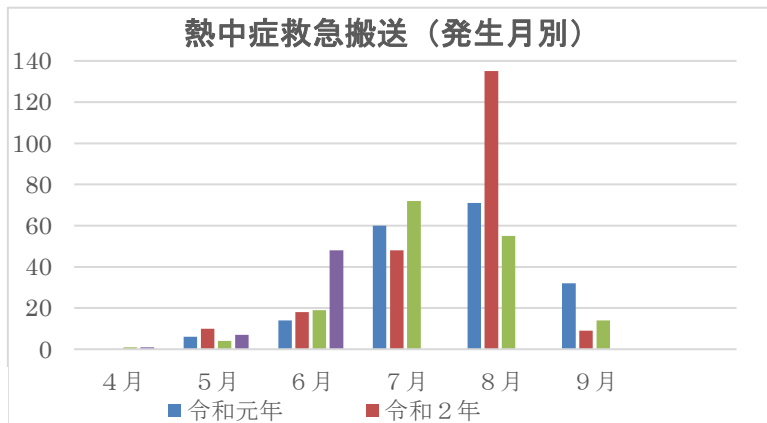
【熱中症搬送人員の状況】

和歌山市の令和4年の熱中症救急搬送数は、令和4年6月29日現在48人（令和4年6月中40人）、昨年より29人増（2.5倍）となっており、例年よりも熱中症対策が急務となっています。

【熱中症救急搬送（6月中）】



【熱中症救急搬送（月別）】



【新たな取り組み】

令和4年5月20日に大塚製薬株式会社と包括連携に関する協定を締結し、熱中症対策に関する取り組みを実施します。

- 1 6月23日、6月28日に消防活動時における熱中症対策のオンライン研修を実施
- 2 学校教員への熱中症対策アドバイザー取得にむけた講座の実施
- 3 熱中症啓発ポスターの作成

【熱中症予防】

熱中症は予防が非常に大切です。熱中症に対する知識を深め、未然に防ぎましょう！

- ◆ 熱中症警戒アラート発表時は運動を中止し、暑さを避け、のどが渇いていなくてもこまめに水分補給をしましょう。
- ◆ エアコン使用中もこまめな換気が大切です。
- ◆ 高齢者・子ども・障がいをお持ちの方は、熱中症になりやすいので十分に注意しましょう。

※市役所（本庁舎）・支所・連絡所・コミュニティセンター・サービスセンター・保健センター等市内56か所に「ひとやすみ所」を開設しています。外出中に暑さで気分がすぐれない時「あれ、おかしいな？」と思ったらお気軽にご利用ください。

熱中症予防 ひとやすみ所

～熱中症にご注意ください～

暑さで気分がすぐれないときは、涼しい場所に移動して体を冷やし、水分や塩分補給をするなどしてください。

「熱中症予防ひとやすみ所」とは：外出中に暑さで気分がすぐれないとき、「あれ、おかしいな？」と思ったら、どうぞお気軽にご利用ください。

お問い合わせ 和歌山市保健所 地域保健課 488-5119



【マスクの着用について】

＜日常生活＞ 屋外ではマスク着用により、熱中症のリスクが高まります。

- ◆ 熱中症を防ぐために屋外ではマスクをはずしましょう。
- ◆ 屋外での散歩やランニング、通勤、通学等もマスクの着用は必要ありません。
※近距離（2m以内を目安）で会話をするときはマスクの着用を。